

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 地歴		科目名 日本史探究		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
原始・古代 4月	日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、理解している。 ・水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 ・小国の形成～連合について、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について明らかにしようとしている。 ・日本列島における農耕社会の特色や社会構造の変化について考察することを通じ、弥生文化の特色を明らかにしようとしている。
原始・古代 5月	古墳とヤマト政権	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、特色を理解している。 ・政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の歴史書の記事などをもとに、東アジア諸国との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について考察し、表現している。 ・大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小国の形成について考察し、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。 ・推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。
原始・古代 6月	律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 ・平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制整備の過程について考察し、表現している。 ・藤原氏を中核とする政治抗争の進展と土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 ・鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。 ・律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。 ・中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 ・平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとしている。
原始・古代 6月～7月	貴族政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 ・大陸からの文物の定着を前提として、より日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。 ・地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発などについて、その特色や変容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 ・浄土の信仰の変容、国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 ・国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察し、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。 ・政治と文化との関係を考察し、つながりを見出そうとしている。 ・地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。
中世 8月	院政と武士の躍進	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 ・平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料を読み取り、武士の政治進出について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。 ・武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世社会の特色について、追究しようとしている。 ・古代との比較などを通して、中世の特色を探究しようとしている。
中世 9月	武家政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 ・承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、理解している。 ・モンゴル襲来の国際的な背景や国 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、根拠を明確にして表現している。 ・武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、表現している。 ・鎌倉時代の生産の発達と商品の流 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究している。 ・武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。 ・ユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究し

		<p>内政治への影響について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉時代の宗教や文化の特徴について、諸資料読み取る技能を身につけている。 	<p>通、国内での貨幣経済の発達とその意義について、考察し、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<p>ようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉時代の宗教や文化にみられる特徴について、主体的に追究しようとしている。
<p>中世 10月～11月</p>	<p>武家社会の成長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易のなどについて理解している。 ・諸産業や流通、地域経済が成長し、村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 ・室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。 ・守護大名と戦国大名の権力の相違点や、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、考察し、表現している。 ・自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、考察し、表現している。 ・室町時代の文化の特徴を考察し、表現している。 ・戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前後の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・室町時代に成立した村の自治的運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、主体的に追究しようとしている。 ・宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。 ・歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。
<p>近世 12月～1月</p>	<p>近世の幕開け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 ・桃山文化が幅広い国際性をもちつつ、生活文化の中にとけ込んでいったことについて、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて考察し、表現している。 ・朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世から近世の国家・社会の変容を考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。 ・桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。
<p>近世 1月</p>	<p>幕藩体制の成立と展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 ・江戸時代の社会の構造を理解して 	<ul style="list-style-type: none"> ・織豊政権と幕府の支配の構造の相違点や、江戸幕府による貿易統制の意義について考察し、表現してい 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制が確立する過程における様々な面期について主体的に追究しようとしている。

		<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。 ・江戸時代の技術の向上と開発の進展について理解している。 ・17世紀の文化の特徴などについて、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな支配制度のもとにおける人々の生活の具体相について、表現している。 ・人々の生活や意識がどのように変化したのか考察し、表現している。 ・交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を考察し、根拠を示して表現している。 ・幕府の統治政策等について考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制下の社会構造を考察し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。 ・江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。 ・近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、明らかにしようとしている。 ・17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。
近世 1月	幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 ・幕藩体制下の社会の変容に着目して、宝暦・天明期における新たな学問の確立、各地に設立された教育機関の展開を理解している。 ・幕府権力が衰退する一方で工場制手工業など近代の萌芽がみられ、雄藩が出現する過程を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品作物や貨幣経済の浸透により、米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 ・幕藩体制の動揺について考察し、表現している。 ・幕府政治の動揺と諸藩の動向について考察し、根拠を明らかにして表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会・経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。 ・宝暦・天明期における文化の展開について主体的に追究しようとしている。 ・飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、主体的に追究しようとしている。
主な評価方法		定期考査	定期考査、提出課題	授業態度、提出課題
その他				